

<p><b>【技術の名称】</b>                  GRID WALL工法                  ー小型三軸施工機によるスラリー系機械攪拌式壁                  杭状深層混合処理工法ー</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第14-13号（更3）                  性能証明発効日：2023年9月25日                  性能証明の有効期限：2026年9月末日</p> <p><b>【取得者】</b>                  一般社団法人 GRID WALL 工法協会                  （代表会社）株式会社オートセット</p>
---	---

**【技術の概要】**

本技術は、小型の三軸地盤改良機を用いて、セメント系固化材スラリーを吐出しながら地盤を掘削攪拌することで、ラップ部を有する三軸壁杭状の地盤改良体を築造する機械攪拌式深層混合処理工法である。

**【更新の内容】**

新規：GBRC 性能証明 第14-13号（2014年9月2日）  
 更新：GBRC 性能証明 第14-13号（更1）（2017年9月12日）  
       GBRC 性能証明 第14-13号（更2）（2020年9月7日）  
       GBRC 性能証明 第14-13号（更3）（2023年9月25日）

**【技術開発の趣旨】**

一般的なスラリー系機械攪拌式深層混合処理工法では、土が攪拌翼に付着して一緒に回転する共回り現象を低減するために、共回り防止翼の形状や機構などに独自の工夫が施されている技術が多い。本技術は、先端の掘削翼に加えてその上部に6枚の攪拌翼を装備した3軸のロッドを有する施工機を使用するもので、隣り合う軸の攪拌翼をラップさせるとともに逆回転させて上記共回り現象を防止し、改良体の品質の安定化を図ろうとするものである。また、本工法による改良体を格子状や壁状に施工することで、地盤のせん断変形抑止による液状化対策や山留め壁としての使用も意図している。

**【性能証明の内容】**

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「GRID WALL 工法 施工管理指針」に従って築造される改良体は、土質に応じて500~2,000kN/m<sup>2</sup>の設計基準強度を確保することが可能であり、配合設計および品質検査に用いる改良体コアの一軸圧縮強さの変動係数として、砂質土層および粘性土層で25%が採用できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。



図-1 施工機械例

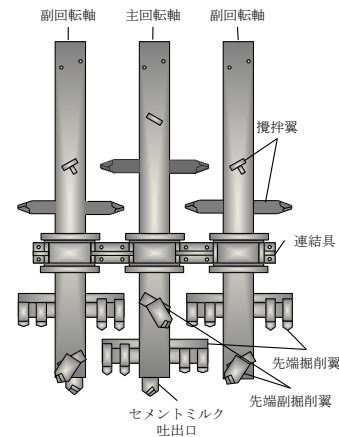


図-2 三軸攪拌機概要図

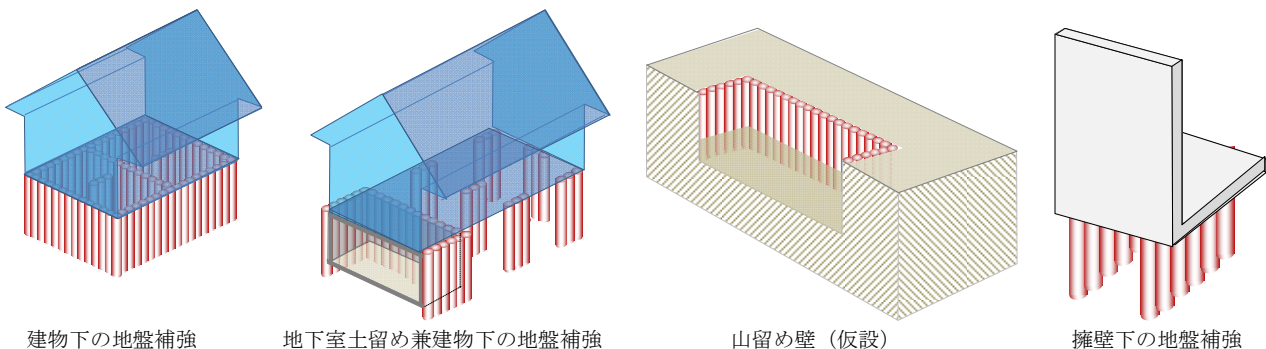


図-3 適用例

**【本技術の問合せ先】**

一般社団法人 GRID WALL 工法協会 事務局 担当者：丸岡 敏明 E-mail：t-maruoka@aughtset.com

〒571-0002 大阪府門真市岸和田 3-46-25

TEL：072-803-6890 FAX：072-803-7222